

2018 年 11 月 13 日
 千代田化工建設株式会社
 IR・広報・CSR 部

**2019 年 3 月期 第 2 四半期決算説明会・中期経営計画の見直し
質疑応答 (2018 年 11 月 9 日発表)**

2018 年 11 月 9 日に開催した、証券アナリスト・機関投資家向け説明会において、出席者の皆様からいただいた主なご質問と、当社の回答を以下にまとめております。

質問	回答
キャメロン LNG 関連	
今回計上した追加コストの前提は、JV パートナーであるマクダーモットと合致しているか。	マクダーモットと共同で行った精査に基づいて追加の工事コストを見積もった。パートナーと合致している。
コストが更に膨らむ恐れは無いか。	完工までのリスクをすべて検討し保守的に見積もっている。現時点ではこれ以上の損益悪化の可能性はないと考える。

今後に向けた計画関連

インダストリアルパートナーの意味は何か。同業他社のことか。	金融機関以外の事業会社を意味している。
純資産を増やすために優先株発行を考えているか。	現時点においては、あらゆる選択肢の可能性を検討している。
財務体質の強化は、2019 年 3 月の目標よりもっと前倒しに行くべきではないか。	ご指摘の点は十分承知している。

その他

現在の財務状況で、今後の受注計画に支障はないのか。	客先には状況を説明しており、理解を求めている。受注計画に支障がでないよう、適切に対応してゆく。
来期は黒字転換するか。	海外案件の追加コストは今回すべて計上しており来期には影響が無い。また国内案件は順調である。来期には黒字転換を目指したい。

以上